

## 第2回 実戦問題

解答・配点 (100点満点)

問番 号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄	問番 号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄
第1問 (6)	1	[ 1 ]	④	2		第6問 (12)	1	[ 24 ]	②	3*	
	2	[ 2 ]	②	2	[ 25 ]			③			
	3	[ 3 ]	③	2	[ 26 ]			⑤			
小計					[ 27 ]			④			
第2問 (12)	1	[ 4 ]	③	3			2	[ 28 ]	④	3*	
	2	[ 5 ]	③	3	[ 29 ]			⑤			
	3	[ 6 ]	③	3	[ 30 ]			④	3		
	4	[ 7 ]	①	3	[ 31 ]			②	3		
小計					小計						
第3問 (9)	1	[ 8 ]	④	3*			第7問 (16)	1	[ 32 ]	①	3
		[ 9 ]	③					3			
		[ 10 ]	①					3			
		[ 11 ]	②			4*					
	2	[ 12 ]	③	3	5	[ 37 ]		④	3		
3	[ 13 ]	④	3	小計							
小計					第8問 (17)		1	[ 38 ]	①	3	
第4問 (12)	1	[ 14 ]	④	3		2	[ 39 ]	④	3		
	2	[ 15 ]	①	3	3		[ 40 ] - [ 41 ]	③ - ⑤	4*		
	3	[ 16 ]	③	3			[ 42 ]	③			
	4	[ 17 ]	④	3	4		[ 43 ]	②	3		
小計					5		[ 44 ]	②	4		
小計					小計						
第5問 (16)	1	[ 18 ]	④	3		合計					
	2	[ 19 ]	①	3	(注)	1 *は、全部正解の場合のみ点を与える。					
	3	[ 20 ]	③	3		2 - (ハイフン) でつながれた正解は、順序を問わない。					
	4	[ 21 ]	⑥	2							
		[ 22 ]	①	2							
5	[ 23 ]	⑤	3								
小計											

第1問

解答

問1 - ④ 問2 - ② 問3 - ③ (各2点)

出典

Original Material

全訳

あなたはアメリカにいる交換留学生で、クラスで読書の課題が出されています。読む小説を選ぶ必要があり、現在下の書評を読んでいます。

『Stars Beyond Reach』 著者：Aria M. Skyler  
2016年に書かれた『Stars Beyond Reach』は、謎に包まれたSF小説です。この物語では、登場人物たちが摩訶不思議な試練に満ちた宇宙冒険に出かけます。本書は、広大な宇宙探索とワクワクする未解決の謎を組み合わせ、詳細な世界観と予想外の物語の展開で読者を惹きつけます。これがSkylerの初めての作品だとは信じられません！この本は宇宙の謎と人々の強さを描いた物語が大好きな人に最適です。

『Whispers of the Past』 著者：Eloise Hart  
『Whispers of the Past』はやや変わった恋愛物語を描いています。主人公たちは、100年前の恋愛物語が書かれている手紙を見つけ、その物語に多くの疑問を抱くことになります。Hartの言語学の学術背景と豊かな想像力が結びついて、隠された秘密の発見がいっぱいのスムーズで興奮する恋愛小説を作り出し、この本は2018年の大ヒット作の1つになっています。この本は愛と古い秘密の強力な力を示す旅にあなたを連れていってくれます。

『The Final Clue』 著者：James R. Ellison  
『The Final Clue』は始まりから終わりまでワクワクするミステリー小説です。主人公の探偵、Laura Haleはロンドンで難解な謎を解決しようと奮闘し、読者に思考を促し、興味を持たせ続けます。2017年に取り組み始めてから出版されるまで完成に5年を要したこの本は、謎解きだけでなくユニークなキャラクターやロンドンの詳細な描写も特徴としています。今年、この本はミステリー愛好家にとどまらず幅広い小説ファンを惹きつけるでしょう。

設問解説

問1 ① 正解④

「これらの書評であなたは①とわかる」

- ① 『The Final Clue』では多くの探偵たちが謎解きをしていく
- ② James R. Ellisonはロンドンでミステリー小説を書いた
- ③ 『Stars Beyond Reach』は宇宙について学ぶ人たちが描かれている
- ④ 『Whispers of the Past』は単純な恋愛小説にとどまらない

正解は④。『Whispers of the Past』のレビューの第1文(Whispers of the ...)に『Whispers of the Past』が「やや変わった恋愛物語」であると紹介されており、また第3文後半に「隠された秘密の発見がいっぱい」などの記述もあるように、単なる恋愛小説ではないことが示唆されているので、④が正解になる。

『The Final Clue』のレビューの第2文(The main character, ...)にはLaura Haleという探偵が登場人物であることは書かれているが、「多くの探偵たち」が出てくるとは書かれていないので①は誤り。James R. Ellisonは『The Final Clue』の著者で、そのレビューの中で小説の舞台はロンドンであると述べられているが、James R. Ellisonがロンドンで

本を書いたかどうかは不明なので②は誤り。『Stars Beyond Reach』のレビューの第2文(In this story, ...)に登場人物たちは宇宙へ冒険に出かけると書かれているが、宇宙について学んでいるという描写は無いので③も誤り。

問2 ② 正解②

「3冊全ての本において、あなたは②ことができる」

- ① 実際には存在しない場所を舞台とする物語を楽しむ
- ② ミステリー [謎] の要素が含まれているとわかる
- ③ 人間の強さを知る
- ④ 登場人物の道徳的成長を見る

正解は②。3冊のレビューに共通する要素を探し出すこと。『Stars Beyond Reach』のレビューの第1文(Stars Beyond Reach, ...)に「謎に包まれたSF小説」であると紹介されており、さらに第3文(The book combines ...)に「広大な宇宙探索とワクワクする未解決の謎を組み合わせ、詳細な世界観と予想外の物語の展開で読者を惹きつけます」とあり、『Stars Beyond Reach』にはミステリーの要素が含まれていることがわかる。『Whispers of the Past』のレビューの第2文(The main characters ...)には「主人公たちは、100年前の恋愛物語が書かれている手紙を見つけ、多くの疑問を抱くこととなります」とあり、続く第3文(Hart's academic background ...)には「隠された秘密の発見がいっぱいのスムーズで興奮するロマンス小説」と紹介されていることから、『Whispers of the Past』にもミステリーの要素が含まれていることがわかる。『The Final Clue』のレビューの第1文(The Final Clue ...)には「ワクワクするミステリー小説」であると記述があるので、『The Final Clue』にもミステリーの要素が含まれていることがわかる。したがって正解は②となる。

『The Final Clue』の舞台はロンドンであることなどから①は誤り。『Stars Beyond Reach』のレビューの最終文(This book is ...)に「宇宙の謎と人々の強さを描いた物語」とはあるものの、他のレビューには「人間の強さ」に関する記述は見当たらないので③は誤り。登場人物の道徳的成長に関してはどの本のレビューからも読み取ることができないので④も誤りである。

問3 ③ 正解③

「以下の出来事のうち最も最近起きたことはどれか」 ③

- ① Hartが言語学を勉強し始めた。
- ② Skykerが彼女の初めての小説を書いた。
- ③ 『The Final Clue』が出版された。
- ④ 『Whispers of the Past』が書かれた。

正解は③。『The Final Clue』のレビューの第3文(This book, which ...)に「2017年に取り組み始めてから出版されるまで完成に5年を要した」とあるので、2022年に出版したのだとわかる。①の時期に関しては本文に記述がないが、『Whispers of the Past』には「Hartの言語学の学術背景」が反映されているとあるので、この本がヒットした2018年以前のことだと考えられる。②に関して、『Stars Beyond Reach』のレビューの第1文(Stars Beyond Reach, ...)に2016年に書かれたとあり、さらに第4文(I can't believe ...)にSkylerの初めての作品が『Stars Beyond Reach』であるとわかるので、彼女の初めての小説を書いた年度は2016年であるとわかる。④に関して、『Whispers of the Past』のレビューの第3文(Hart's academic background ...)に2018年の大ヒット作の1つであると書かれていることから、2018年以前に書かれたものだとわかる。したがって答えは③であると判断できる。

主な語句・表現

[本文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ mysterious ㊦ 「不思議な」
- ◇ challenge ㊦ 「難題；課題」
- ◇ mystery ㊦ 「謎；ミステリー」
- ◇ highlight ㊦ 「…を強調する」
- ◇ demonstrate ㊦ 「…を実証する」
- ◇ attract ㊦ 「…を惹きつける」

- ◇ adventure ㊦ 「冒険」
- ◇ combine ㊦ 「…を組み合わせる」
- ◇ top pick 「第1位」
- ◇ result in ... 「結果…となる」
- ◇ publication ㊦ 「出版」
- ◇ enthusiast ㊦ 「熱狂的なファン」

[設問文・選択肢]

- ◇ (be) set in ... 「(物語の舞台が) …に設定される」

第2問

解答

問1 - ㉓

問2 - ㉓

問3 - ㉓

問4 - ㉑

(各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたはアメリカの大学で映画について学んでいる学生で、映画を視聴できるストリーミングサービスを探しています。あなたはあるサービスに関する次のレビューを見つけました。

学校のレポートで映画について書かなければならなかったので、さまざまなプランから選択できるオンライン映画サービスである YouVideo を試してみることにしました。

YouVideo には3つのプランがあります。どのプランを選んでも、利用可能なコンテンツにとっても簡単にアクセスできます。「ベーシック」プランは月額7.99ドルで、一部の古い映画やテレビ番組にアクセスできます。お金をあまりかけたくない場合には良いです。

「スタンダード」プランは月額12.99ドルです。新作やドキュメンタリーを含む、より多くの映画が選べます。1,000を超える映画が利用可能で、レポートのために書く材料がたくさんありました。さらに良いことに、もし最初からインターネットを通じてスタンダードプランに申し込むと、最初の3ヵ月は「ベーシック」プランと同じ価格で楽しめます。

そして、月額19.99ドルの「プレミアム」プランがあります。このプランはさらに多くの映画を有しており、画質も非常に良いです。さらに、新しい映画は他の誰よりも先に見ることができて、中には特別な舞台裏映像も含まれます。映画の大ファンであれば、これが最高のプランです。

私は最初にスタンダードプランを試しました。以前に観たものに基づいて映画をおすすめしてくれるのが気に入りました。そのためにレポートのために書くものを見つけるのがとても簡単になりました。とはいえ、1つ上のプランを試した友人は肯定的な意見ばかりを口にしているので、私も近々プランをアップグレードしようと考えています。

全体的に、YouVideo は私の学校のプロジェクトに大いに役立ちました。たとえあなたがたまにしか映画を観ない人であっても、熱心な映画ファンであっても、あなたに合ったプランがあります。YouVideo は、自宅を出ることなく映画の世界を探検する楽しい方法です。あなたの映画の冒険のチケットは、たった数クリック先にあります！

## 問1 4 正解③

「レビューによると、以下のうち正しいのはどれか」 4

- ① 最も安いプランでも最新のコンテンツをサポートしている。
- ② 筆者は今 YouVideo に月に 13 ドルを超える額を支払っている。
- ③ スタンダードプランは通常の値段の3分の2未満で利用できる場合がある。
- ④ YouVideo は主に学生の使用を意図している。

正解は③。第3段落最終文 (What's even better ...) で「さらに良いことに、もし最初からインターネットを通じてスタンダードプランに申し込むと、最初の3ヵ月は『ベーシック』プランと同じ価格で楽しめます」と述べられている。同段落第1文 (The "Standard" plan ...) で「スタンダード」プランは月額 12.99 ドル、第2段落第3文 (The "Basic" plan ...) で「ベーシック」プランは月額 7.99 ドルと述べられており「3分の2未満」という条件に該当する。

第2段落第3文 (The "Basic" plan ...) で「『ベーシック』プランは月額 7.99 ドルで、一部の古い映画やテレビ番組にアクセスできます」とあり、新しいコンテンツの提供はないため①は不適。第5段落冒頭 (I tried out ...)、そして最終文 (Having said that, ...) より、筆者は最初「スタンダード」プランで契約し、まだ「プレミアム」プランには入っていないとわかり、12.99 ドル以上は支払っていないはずなので②は不適。「主に学生の使用を意図している」という言及は本文中にないため、④は不適。

## 問2 5 正解③

「最も値段が高いプランに含まれていないのはどれか」 5

- ① 特典映像
- ② 昔のテレビ番組
- ③ ダウンロード可能な映画
- ④ ノンフィクション映画

正解は③。「最も値段が高いプラン」とは「プレミアム」プランのことである。第4段落第3文 (Plus, you get ...) に「新しい映画や特別な舞台裏映像」とあり、これは「特典映像」と言えるため①は除外される。第3段落第2文 (It has more ...) に「スタンダード」プランでは「新作やドキュメンタリーを含む、より多くの映画が選べます」とあり、第4段落第2文 (It supports even ...) では「プレミアム」プランはさらに多くの映画を有していると述べられていることから、最も高価な「プレミアム」プランには②も④も含まれていると考えられる。③については全く触れられていないので、これが正解となる。

## 問3 6 正解③

「YouVideo のサービスに関する意見の1つは 6」ということである

- ① 一部の古い映画は画質が悪い
- ② 筆者はしばらくの間プランを変更しないだろう
- ③ 最も高いプランは申し分のない満足度だ
- ④ 3つのプランはそれぞれ異なる量のコンテンツを提供している

正解は③。第5段落最終文 (Having said that, ...) で「1つ上のプラン (つまり最も高い「プレミアム」プラン) を試した友人は肯定的な意見ばかりを口にしている」と述べられており、これが③と対応している。

第4段落第2文 (It supports even ...) に「画質がいい」という記述はあるが、古い映画の画質の悪さについては述べられていないため①は不適。第5段落最終文 (Having said that, ...) で「私も近々プランをアップグレードしようと考えています」と述べられており「しばらくの間プランを変更しないだろう」という記述とは食い違うため②は不適。④は本文の内容と合致するものの「3つのプランで提供コンテンツの量が異なる」という

のは「事実 (fact)」であって「意見 (opinion)」ではない。

## 問4 7 正解①

「このサービスによって提供される利点のうち筆者の目的におそらく最も役に立ったのはどれか」 7

- ① そのサービスはユーザーの興味に合う映画を提案してくれる。
- ② 家から広範囲にわたるコンテンツにアクセスできる。
- ③ かなり安価にサービスを利用することができる。
- ④ 新しくリリースされた映画を可能な限り早く視聴することができる。

正解は①。第5段落第2文・第3文に「以前に観たものに基づいて映画をおすすめしてくれる」「そのためにレポートのために書くものを見つけるのがとても簡単になった」という内容が述べられており、①と合致する。

②は最終段落第3文 (It's a fun ...) に「自宅を出ることなく映画の世界を探検する」という記述が、③は第2段落最終文 (It's good if ...) に「お金をあまりかけたくない場合には良い」という記述が、④は第4段落第3文 (Plus, you get ...) に「新しい映画を誰よりも早く見られる」という記述があるが、いずれも筆者の目的である「レポートを書く」ことに役立ったという記述はない。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ look for ... 「…を探す」
- ◇ certain ㊦ 「とある」

- ◇ following ㊦ 「次の」

[本文]

- ◇ try ... out 「…を試す」
- ◇ including ㊦ 「…を含む」
- ◇ plenty ㊦ 「大量」
- ◇ plus ㊦ 「さらに」
- ◇ based on ... 「…に基づいて」
- ◇ the next plan up 「そのすぐ上にあるプラン」
- ◇ nothing but ... 「…しかない」
- ◇ casual ㊦ 「軽い」

- ◇ cost ㊦ 「〈お金など〉がかかる」
- ◇ available ㊦ 「利用可能な」
- ◇ quality ㊦ 「品質」
- ◇ stuff ㊦ 「もの」
- ◇ having said that 「とはいえ」
- ◇ overall ㊦ 「全体として」
- ◇ explore ㊦ 「…を探検する」

[設問文・選択肢]

- ◇ according to ... 「…によると」
- ◇ author ㊦ 「筆者」
- ◇ primarily ㊦ 「主に」
- ◇ classic ㊦ 「古典的な」
- ◇ combination ㊦ 「組み合わせ」
- ◇ occasional ㊦ 「時たまの」
- ◇ benefit ㊦ 「利点」
- ◇ purpose ㊦ 「目的」
- ◇ match ㊦ 「…に適する」
- ◇ diverse ㊦ 「多様な」
- ◇ as soon as possible 「できるだけ早く」

- ◇ latest ㊦ 「最新の」
- ◇ regular ㊦ 「正規の」
- ◇ expensive ㊦ 「値段が高い」
- ◇ appropriate ㊦ 「適切な」
- ◇ suitable ㊦ 「適している」
- ◇ satisfactory ㊦ 「満足のいく」
- ◇ probably ㊦ 「おそらく」
- ◇ suggest ㊦ 「…を提案する」
- ◇ interest ㊦ 「興味」
- ◇ range ㊦ 「幅」

第3問

解答

問1 - 8 ④, 9 ③, 10 ①, 11 ②  
問2 - ③ 問3 - ④

(全部正解で3点)  
(各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたはサイエンスキャンプに参加する予定です。準備のために、昨年そのキャンプに参加したリョウヤが書いたブログを読んでいます。

キングスウッド・サイエンスキャンプ キーストーン島にて

私の学校のリベラルアーツ教育プログラムの一環として、私は3日間のキングスウッド・サイエンスキャンプに参加しました。私たちは、提供されたいくつかの3日間のコースの中から1つを選ぶことができました。参加者は各コースで1日1回の講義を受けました。どのコースも非常に魅力的だったので、1つだけを選ぶのは大変でした。私は「上級科学コース」をとることに決めました。

コースの初日には、私にとって最も魅力的だった「第二の地球を探す」というタイトルの講義に参加しました。ジョシュア先生が天文観測の方法や、惑星探査機や望遠鏡からのデータの分析方法について教えてくれました。その日の終わりには、先生や他の参加者と共に夜空を観察し、いつもとは違った見方で空を見ることができて興奮しました。

2日目には、そのコースでは「ブラックホールの探求」というテーマが紹介されました。ブラックホールは私にとってファンタジーの世界のものだといつも思っていたのですが、特別に設計された小型観測装置でキャプチャされたデータを分析し、ブラックホールの謎について学びました。観測装置で捉えられたブラックホールから出る音を聞くのは少し怖く、それまでに聞いたことのない音でした。

コースの最終日には、「水処理ロボットの製作」に参加しました。午前中には、ロボットの構造と仕組みについて学びながら、みんなで一緒にロボットを作りました。エネルギー消費を最小限に抑えるように設計された仕組みや水を浄化する方法について学ぶことは非常に教育的でした。午後には、自分たちで作ったロボットを近くの湖に持っていき、操作しました。最初は湖がきれいに見えたので、ロボットを使う必要はないと思っていました。しかし、ロボットを操作してみると、肉眼では見えない汚染があることがわかりました。

このキャンプ以来、私の好奇心はどんどん高まりました。ジョシュア先生がコースの初日に教えてくれたことに刺激を受けて、興味のある分野の知識を深めることを決意しました。

問1 **8** 正解④, **9** 正解③, **10** 正解①, **11** 正解②

「リョウヤのブログには、サイエンスキャンプでの出来事を書いている、彼と同じコースに参加していた生徒たちからのコメントもありました。そのコメント(①~④)を出来事が起こった順に並べなさい」

- ① ロボットを作るのはとても大変だったけれども、完成したらすぐに、操作してみたくなったよね!
- ② きれいだと思っていた湖が実際には汚染されていたと知って私もショックだったよ。もっと環境を気にかけなきゃね。
- ③ いかに自分たちが宇宙についての知識が少ないかということを知って驚いてしまいました。その時までブラックホールの音が一体どんなものなのかまったくわからなかったよ。
- ④ 天文学に関する知識がいくらあっても、星を見るのはより面白かった! これがきっかけでもっと天体について学びたいと思ったよ。

第2段落最終文(At the end ...)に「その日の終わりには、先生や他の参加者と共に夜空を観察し、いつもとは違った見方で空を見ることができて興奮しました」とあるので、天体観察をしたのは初日であるとわかる。④のコメントでは「天文学に関する知識がいくらあっても、星を見るのはより面白かった」とあるので、初日に起こった出来事であると判断できる。次に、第3段落最終文(Listening to the ...)に「観測装置で捉えられたブラックホールから出る音を聞くのは少し怖く、それまでに聞いたことのない音でした」とあり、これは③の「その時までブラックホールの音が一体どんなものなのかまったくわからなかったよ」に対応するため、③が④の次に起きた出来事を述べているとわかる。続く第4段落の第2文(In the morning, ...)に「午前中には、ロボットの構造と仕組みについて学びながら、みんなで一緒にロボットを作りました」とあり、これが①の「ロボットを作るのはとても大変だった」に対応していると考えられるので、①が③の次に起きた出来事を述べているとわかる。最後に第4段落第5文(Initially, the lake ...)に「最初は湖がきれいに見えたので、ロボットを使う必要はないと思っていました」とあり、これが②の「きれいだと思っていた湖が実際には汚染されていたと知って私もショックだったよ」に対応していると考えられるので、②が①の次に発生した出来事を述べていると判断できる。したがって正解は④→③→①→②となる。

問2 **12** 正解③

「キャンプから、リョウヤは**12**については学ばなかった」

- ① ブラックホールの特徴
- ② 星の観察の仕方
- ③ 地球外生命体
- ④ ロボットの仕組み

正解は③の「地球外生命体」である。第2段落最終文(At the end ...)に「その日の終わりには、先生や他の参加者と共に夜空を観察し、いつもとは違った見方で空を見ることができて興奮しました」とあり、初日には星の観察の仕方を学んだと判断できるので②は不適。第3段落ではキャンプの2日目にブラックホールの謎について学んだとあるため、その内容を言い換えた①「ブラックホールの特徴」は不適。第4段落第2文(In the morning, ...)に「午前中には、ロボットの構造と仕組みについて学びながら、みんなで一緒にロボットを作りました」とあるので、④「ロボットの仕組み」も不適。③「地球外生命体」については3日間のコースの説明中に言及がないため、学んでいないと判断できる。

問3 **13** 正解④

「現在、リョウヤは**13**について学ぶことに熱心である可能性が高い」

- ① ブラックホール
- ② 環境問題
- ③ 公衆衛生
- ④ 宇宙探索

正解は④。最終段落第2文(Having been inspired ...)に「ジョシュア先生がコースの初日に教えてくれたことに刺激を受けて、興味のある分野の知識を深めることを決意しました」とあるため、リョウヤは現在自分の興味のある分野を学んでいると考えられる。さらに第2段落第2文(Mr. Joshua taught ...)に「ジョシュア先生が天文観測の方法や惑星探査機や望遠鏡からのデータの分析方法について教えてくれました」とあることから、リョウヤの興味のある分野は天文観察や惑星探査など宇宙に関することであると判断できる。これを最もよく表す選択肢は④「宇宙探索」である。

①「ブラックホール」は宇宙に関することではあるが、ジョシュア先生が初日に伝えたものではなく、2日目に学んだ内容であるため不適。

主な語句・表現

[本文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ liberal arts 「リベラルアーツ；教養」
- ◇ challenge ㊦ 「難題；課題」
- ◇ attractive ㊦ 「魅力的な」
- ◇ analyze ㊦ 「…を分析する」
- ◇ telescope ㊦ 「望遠鏡」
- ◇ in a different way from ... 「…とは異なる方法で」
- ◇ capture ㊦ 「…を捉える」
- ◇ scary ㊦ 「恐ろしい」
- ◇ purify ㊦ 「…を浄化する」
- ◇ initially ㊦ 「はじめは」
- ◇ naked eye 「裸眼」
- ◇ participate in ... 「…に参加する」
- ◇ fascinating ㊦ 「魅力的な」
- ◇ astronomical observation 「天文観察」
- ◇ planetary probe 「惑星探査機」
- ◇ observe ㊦ 「…を観察する」
- ◇ emit ㊦ 「…を発する」
- ◇ consumption ㊦ 「消費」
- ◇ operate ㊦ 「…を操作する」
- ◇ invisible ㊦ 「目に見えない」
- ◇ curiosity ㊦ 「興味関心」

[設問文・選択肢]

- ◇ celestial body 「天体」

第4問

解答

問1 - ④ 問2 - ① 問3 - ③ 問4 - ④ (各3点)

出典

Original Material

全訳

英語の授業で、あなたは関心のある社会問題についてのエッセイを書いています。これが最も新しい草稿です。あなたは今、先生からのコメントに基づいて、修正を行っています。

昆虫食	コメント
<p>近年、世界保健機関（WHO）は人々にもっと昆虫を食べるように勧めている。この推奨は、増え続ける世界人口を支えるため、持続可能で栄養価の高い食料源を見つける努力の一環である。</p>	
<p>昆虫を食べることの主な利点のひとつは、その栄養である。昆虫にはタンパク質や重要なビタミンと、鉄分、カルシウム、亜鉛などの重要なミネラルが含まれている。例えば、コオロギに含まれるタンパク質は牛肉と同じくらいだが、脂肪はより少ない。食生活に昆虫を取り入れることは、特に発展途上国において、人々を助けることができる(1)△。</p>	<p>(1) 「人々を助ける」について、情報を追加してさらに説明してください。</p>
<p>昆虫食のもうひとつの利点は、環境への影響が少ないことだ。昆虫の飼育に必要な土地、水、飼料は、牛や鶏の飼育よりも少ない。また、昆虫は温室効果ガスの排出も少ない。(2)△昆虫は有機廃棄物を飼料とすることができるので、ごみ処理場の廃棄物も少なくなる。</p>	<p>(2) ここにつながるの表現を入れましょう。</p>
<p>こういった利点があるにもかかわらず、多くの人々は昆虫を食べることを躊躇している。多くの西洋諸国では、昆虫を食べるという発想は奇妙で、食欲をそそらないと考えられている。しかし、(3)他の地域では必ずしもそうではない。昆虫食の利点について人々を啓発し、魅力的な商品を提供することで、昆虫食をより受け入れやすくすることができる。</p>	<p>(3) 下線部をより具体的に表す必要があります。書き直しましょう。</p>
<p>結論として、昆虫食には大きな利点がある(4)△。それは世界的な食糧安全保障の課題に取り組み、食料生産が環境に与える影響を軽減するための一歩となる。昆虫を食料源として取り入れることで、誰にとってもより持続可能な未来を作ることができるのだ。</p>	<p>(4) 文脈を踏まえて、利点についてもっと情報を入れましょう。</p>
<p>全体的なコメント： よくできています。引き続き頑張ってください。(私も昆虫食に興味を持ち、インターネットで情報を探しました！😊)</p>	

設問解説

問1 14 正解④

「コメント(1)に基づくと、追加するのに最適な情報はどれか」 14

- ① より裕福になる
- ② 規則正しい食事をする
- ③ 体がより大きくなる
- ④ 健康であり続ける

正解は④。コメント(1)で言及されている“help people”を含む「食生活に昆虫を取り入れることは、特に発展途上国において、人々を助けることができる」は、第2段落の内容を踏まえた1文である。第2段落第1文(One of the ...)で「昆虫を食べることの主な利点のひとつは、その栄養である」とあるように、この段落では昆虫に含まれる栄養について具体的な説明がされているので、「人々を助ける」も栄養に関する説明となるような情報を追加するのが適切である。④を入れて「…特に発展途上国において、人々が健康であり続けるのを助けることになる」とすれば段落全体が一貫した内容となる。

その他の選択肢の内容については、いずれも第2段落中で触れられている内容とは関係がないので適切な説明とはならない。

問2 15 正解①

「コメント(2)に基づくと、追加するのに最適な表現はどれか」 15

- ① 加えて、
- ② 結果として、
- ③ それに対して、
- ④ しかしながら、

正解は①。第3段落第1文(Another advantage of ...)「昆虫食のもうひとつの利点は、環境への影響が少ないことだ」に続いて、第2文と第3文(Raising insects requires ... Insects also produce ...)では「昆虫の飼育に必要な土地、水、飼料は、牛や鶏の飼育よりも少ない」「昆虫は温室効果ガスの排出も少ない」と第1文についての具体例があげられている。第4文(Insects can be ...)の「昆虫は有機廃棄物を飼料とすることができるので、ごみ処理場の廃棄物も少なくて済む」も、同じく「環境への影響が少ない」という昆虫食の利点を説明する具体例と考えられるため、① additionally、「加えて」を入れれば第2・3文に続けて例を列挙していることを示せる。

② as a resultは「結果」、③ by contrastは「対照」、④ howeverは「対比、逆接」を表すので、(2)に入れても適切につながらない。

問3 16 正解③

「コメント(3)に基づくと、下線部を書き換えるのに最適な文は次のどれか」 16

- ① 何世紀も前、昆虫は世界中の人々の食生活の主な一部であった
- ② 東洋の一部の国では昆虫食はタブーと見なされてきた
- ③ アフリカ、アジア、ラテンアメリカでは、昆虫は何世紀にもわたって食べられてきた
- ④ ラテンアメリカやアジアの人々は最近昆虫を食べることを避けている

正解は③。下線部(3)を含む文は、文頭にHowever「しかし」があるので、その前と対比される内容が入ると考えられる。前文の第4段落第2文(In many Western ...)「多くの西洋諸国では、昆虫を食べるという発想は奇妙で、食欲をそそらないと考えられている」と対比的な内容になるのは、③である。この1文が入ることで、第2文までの「昆虫食は躊躇されている」という内容から、最終文の「昆虫食をより受け入れやすくすることができる」に話が自然につながるようになる。

その他の選択肢については、下線部(3)に入れても前後の文が適切につながらない。

問4 17 正解④

「コメント(4)に基づくと、追加するのに最適な情報はどれか」 17

- ① 動物性の肉にはめったにないビタミンやミネラルを含むなどのように
- ② 先進国では汚染や食料廃棄が少ないなどのように
- ③ 各地域の文化的嗜好や認識に関連する
- ④ 栄養改善や環境の持続可能性のような

正解は④。コメント(4)に「文脈を踏まえて」とあるように、最終段落第1文 (In conclusion, eating ...) 「結論として、昆虫食には大きな利点がある」にはここまでのエッセイの内容を反映させる必要がある。第2段落第1文 (One of the ...) では「昆虫を食べることの主な利点のひとつは、その栄養である」、第3段落第1文 (Another advantage of ...) では「昆虫食のもうひとつの利点は、環境への影響が少ないことだ」とあるので、その2点の要素を含む④を入れて「昆虫食には」栄養改善や環境の持続可能性のような(大きな利点がある)」とすればエッセイの主な内容をまとめる1文となる。続く最終段落第2文 (It is a ...) 「それは世界的な食糧安全保障の課題に取り組み、食料生産が環境に与える影響を軽減する」とも矛盾しないため、④が正解。

その他の選択肢は、いずれも上述の2つの利点をまとめた内容となっていないため不適。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ social issue 「社会問題」
- ◇ work on ... 「…に取り組む」
- ◇ draft 図 「草稿」
- ◇ revision 図 「改訂；修正」

[本文]

- ◇ insect 図 「昆虫」
- ◇ nutritious 図 「栄養のある」
- ◇ cricket 図 「コオロギ」
- ◇ raise 動 「…を育てる；…を上げる」
- ◇ landfill 図 「ごみ処理(場)；埋め立て地」
- ◇ unappetizing 図 「食欲をそそらない」
- ◇ acceptable 図 「受け入れられる；容認できる」
- ◇ address 動 「〈問題〉に取り組む」
- ◇ embrace 動 「…を採用する；…を抱きしめる」
- ◇ sustainable 図 「持続可能な」
- ◇ zinc 図 「亜鉛」
- ◇ diet 図 「食事；常食」
- ◇ organic waste 「有機廃棄物」
- ◇ hesitate 動 「ためらう」

[設問文・選択肢]

- ◇ taboo 図 「タブー；禁忌」
- ◇ perception 図 「認識」

第5問

解答

- 問1 - ④ 問2 - ① 問3 - ③ (各3点)
- 問4 - 21 - ⑥ 22 - ① (各2点)
- 問5 - ⑤ (3点)

出典 Original Material

全訳

あなたの美術部が部誌を作ることに決めたため、その計画を話し合うための会議が予定されています。以下の記事と部員を対象に行ったアンケートに基づいて、あなたはグループディスカッション用の配布資料を作成します。

部誌を作ろう

文芸部や美術部にとって、部誌は作品を披露し、部員の創作意欲を高めるための非常に効果的な場として役立ちます。魅力的な部誌を作るために、考慮すべき重要なポイントをいくつか紹介しましょう。

ターゲット：これは意図する読者層に関連します。部誌の内容は学内の読者向けか学外の読者向けかによって異なるでしょう。例えば学内向けの内容であれば、クラブ活動を紹介する記事が含まれるかもしれませんが、これは新入部員を募集するのに役立つでしょう。一方、学外向けの内容としては、受賞作品を特集してクラブ活動の質を披露することができるでしょう。

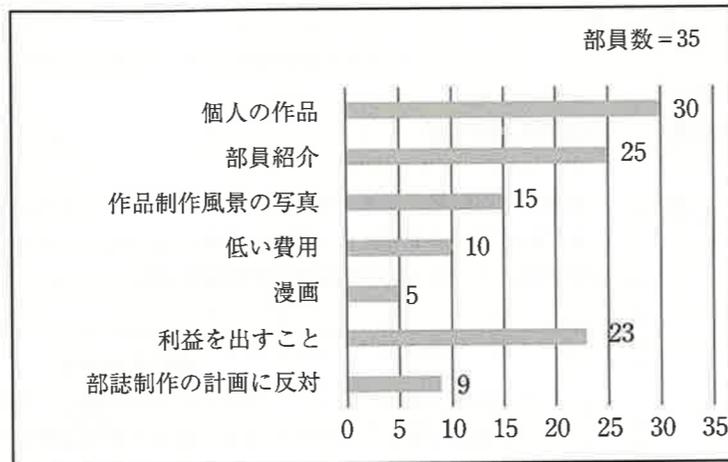
予算：これには主に2つの側面が含まれます。まず、発行頻度です。発行頻度が高いほどクラブ活動の宣伝効果は高まりますが、コストと作業量も増加します。一方、文化祭などのイベント時に年に一度か二度だけ発行することもできるでしょう。次に、印刷方法です。学校のプリンターを使って自分たちで印刷することでコストを節約できますが、時間と労力がかかります。文化祭などのイベントで部誌を販売する場合、多くの部数を印刷する必要があるため、プロの印刷業者に印刷を依頼することを検討しましょう。もちろん、ページをカラーで印刷するとコストが増します。

引き付ける要素：単に情報を羅列するだけでは、部誌を魅力的にすることはできません。確実に多くの人に読んでもらうためには、視覚的な魅力が不可欠です。字体のデザインに工夫を凝らし、配色や他の視覚的要素に注意を払うことで、視覚的に魅力のある部誌を作ることができます。特に、インパクトのある表紙を作ることで部誌はより人目を引くものになります。漫画のストーリーやイラスト、写真を含めるのも効果的でしょう。

これらのポイントを部員がじっくり話し合い、合意に達することが重要です。美術部や文芸部の活動はしばしば個人主義的になりがちです。部誌を作成することで、部員同士が協力する機会が得られます。

アンケート結果

部誌制作について何を望みますか？



その他の意見：

メンバー1 (M1)：作品を記事にするのであれば、できるだけ大きな写真を使う方がよい。

M2：将来、部誌をポートフォリオとして使いたい。白黒写真だとあまり魅力的ではないので、できればカラーがよい。

M3：部誌作成に時間を費やすことに不満を感じる。私は3年生で時間が限られているので、作品制作に集中したい。

M4：体育系の部に比べて、美術部はあまり楽しいイメージがないので、内容をもっと楽しいものにするために漫画やアニメのイラストを取り入れたい。

M5：部の資金が限られているので、部誌を売ってどうやって相当の利益を出すかを考える必要があると思う。

M6：部誌を作成するという考えに反対している部員もかなり多い。作成するのであれば、仕事の役割分担を明確にしてもらいたい。

あなたの配布資料：

部誌制作プロジェクト

■ 部誌発行の利点：

- ◇ 作品披露の場
- ◇ **18**

■ 記事とアンケート結果に基づく提案：

- ◇ ターゲット：コンクール受賞作品を特集することで学外の読者向けの内容に。
- ◇ 予算：
  - ・ 1年に一度か二度の発行
  - ・ 時間節約のため印刷をプロの印刷業者に依頼
- ◇ **19**

■ 記事に基づいた引き付ける要素：

**20**

- A. タイトルのロゴに魅力的なデザイン
- B. カバーに受賞作品の写真
- C. 新入部員からのメッセージ
- D. 漫画やイラストのコーナー
- E. 綿密な色彩の配置

■ その他の話しあうべき事項

- ・ **21** のコメントで言われているように、約4分の1の部員が **22**。どうやって彼らを説得すべきか。
- ・ グラフと **23** のコメントに基づいて、費用を補うために文化祭などのイベントで部誌を販売することを考慮すべき。
- ・ 漫画やイラストを含める予定であれば、著作権の問題に注意する必要がある。

設問解説

問1 **18** 正解④

「**18**に最もふさわしい選択肢を選びなさい」

- ① 予算管理のスキルを高めるための鍵
- ② 他校の美術部とアイデアを交換するための場
- ③ 部員の作品制作の技能を高める方法
- ④ 部員の創造的精神を刺激するための機会

正解は④。「部誌発行の利点」に関しては、記事の第1段落と最終段落に記述がある。第1段落第1文(For literary and ...)に「文芸部や美術部にとって、部誌は作品を披露し、部員の創作意欲を高めるための非常に効果的な場として役立ちます」とあり、④の内容がこれに最も近い。

①、②、③に関しては、該当する記述は本文にない。

問2 **19** 正解①

「**19**に最もふさわしい選択肢を選びなさい」

- ① 選ばれたページだけをカラー印刷する
- ② プロのデザイナーを雇う
- ③ 可能な限り多くのページを手書きにする
- ④ 必要な備品を購入する

正解は①。「予算」については第3段落で述べられており、ページをカラーで印刷するとコストが増すとある。一方、第4段落では、魅力ある部誌を作るには配色などの視覚的要素に注意を払うことが勧められている。また、「アンケート結果」内の「その他の意見」でM2は、「できればカラーがよい」と述べている。そしてM5は「部の資金が限られている」と述べている。これらの見解や意見を踏まえると、筆者が①のように「選ばれたページだけをカラー印刷する」という提案をするのは妥当であることから、①が正解となる。

③に関しては、「印刷方法」と関連のある選択肢に思えるが、本文中に「手書き」に関する記述は一切ない。②と④に関しても本文中に該当する記述はない。

問3 **20** 正解③

「あなたは配布資料をチェックしている。あなたは『記事に基づいた引き付ける要素』の下の提案に誤りを見つける。次のうちどれを削除すべきか」 **20**

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は③。「記事に基づいた引き付ける要素」については第4段落に記述があり、第2文(To ensure it's ...)で「視覚的な魅力が不可欠」と述べられている。Cの「新入部員からのメッセージ」は「視覚的な魅力」とは無関係であることから、これが正解となる。

Aの「タイトルのロゴに魅力的なデザイン」は第3文(You can create ...)の「字体のデザインに工夫を凝らし」や、第4文(In particular, creating ...)の「インパクトのある表紙を作る」が該当する。Bの「カバーに受賞作品の写真」も第4文の「インパクトのある表紙を作る」や最終文(Including comic stories, ...)の「写真を含める」が該当する。Dの「漫画やイラストのコーナー」も最終文の「漫画のストーリーやイラスト、写真を含める」が該当する。Eの「綿密な色彩の配置」は第3文の「配色や他の視覚的要素に注意を払う」に該当する。これらはすべて「視覚的な魅力」と関連している。

問4 21 正解⑥, 22 正解①

「21」と「22」に最もふさわしい選択肢を選びなさい

21

- ① M1
- ② M2
- ③ M3
- ④ M4
- ⑤ M5
- ⑥ M6

22

- ① このプロジェクトに反対である
- ② ぜひ漫画を描きたいと思っている
- ③ もっと多くの部員を募集することを要求している
- ④ 個人の活動に焦点を当てたいと思っている
- ⑤ 集団制作をより望んでいる

21 が含まれる文の中に「約4分の1の部員」とあるので、「アンケート結果」のグラフを見ると、一番下の「部誌制作の計画に反対」が35名中9名で約4分の1である。「アンケート結果」の「その他の意見」を見ると、部誌制作に反対する部員について言及しているのはM6であることがわかる。

問5 23 正解⑤

「23」に最もふさわしい選択肢を選びなさい

- ① M1
- ② M2
- ③ M3
- ④ M4
- ⑤ M5
- ⑥ M6

正解は⑤。23 が含まれる文の中に「費用を補うために文化祭などのイベントで部誌を販売すること」とあり、近い発言をしているのはM5である。また、グラフにおいて「利益を出すこと」を望んでいる部員が23人いることもこの文の内容と合っている。

主な語句・表現

[第1段落]  
(For literary and ...)

- ◇ literary 図「文学の」
- ◇ platform 図「〈何かを発表するための〉場；機会」
- ◇ showcase 圖「…を披露する；展示する」
- ◇ appealing 図「魅力的な」
- ◇ serve as ... 「…として役立つ」
- ◇ boost 圖「…を高める」

[第2段落]  
(Target: This has ...)

- ◇ have something to do with ... 「…と関連がある」
- ◇ intended 圖「意図された」
- ◇ depending on ... 「…に応じて」
- ◇ internal 圖「内部の」
- ◇ external 圖「外部の」
- ◇ audience 図「読者」
- ◇ feature 圖「…を特集する」
- ◇ readership 図「読者層」
- ◇ recruit 圖「…を募集する」
- ◇ award-winning 圖「賞を勝ち取った」

[第3段落]  
(Budget: This primarily ...)

- ◇ budget 図「予算」
- ◇ frequency 図「頻度」
- ◇ promotional 圖「宣伝の」
- ◇ copy 図「〈印刷物の〉部(数)」
- ◇ primarily 圖「主に」
- ◇ enhance 圖「…を高める」
- ◇ workload 図「作業量」
- ◇ outsource 圖「…を外部に発注する」

[第4段落]  
(Hooks: If you ...)

- ◇ hook 図「引き付けるもの」
- ◇ visual 圖「視覚的な」
- ◇ letter 図「文字」
- ◇ color scheme 「配色；色彩設計」
- ◇ impactful 圖「インパクトのある；効果の高い」
- ◇ eye-catching 圖「人目を引く」
- ◇ ensure 圖「…を確実にする」
- ◇ appeal 図「魅力」
- ◇ creatively 圖「独創的に」

[最終段落]  
(It's important for ...)

- ◇ thoroughly 圖「徹底的に」
- ◇ individualistic 圖「個人主義的な」
- ◇ consensus 図「同意」

[アンケート結果]

- ◇ regarding 圖「…に関して」
- ◇ portfolio 図「ポートフォリオ」
- ◇ monochrome 図「白黒写真」
- ◇ incorporate 圖「…を取り入れる」
- ◇ decent 圖「相当の；まずまず」
- ◇ role assignment 「役割分担」
- ◇ whenever possible 「可能な限り」
- ◇ preferable 圖「望ましい」
- ◇ fund 図「資金」
- ◇ profit 図「利益」

[配布資料]

- ◇ entry 図「〈展覧会などへの〉出品作品」
- ◇ a quarter 「4分の1」
- ◇ cautious 圖「慎重な」
- ◇ approximately 圖「およそ」
- ◇ cover 圖「…を補う」

[設問文・選択肢]

- ◇ stimulate 圖「…を刺激する」
- ◇ hire 圖「…を雇う」
- ◇ select 圖「選ばれた」
- ◇ handwritten 圖「手書きの」

- ◇ equipment 図「備品」
- ◇ against 圖「…に反対して」
- ◇ insist on -ing 「-することを主張する」
- ◇ recommendation 図「提案：推薦」
- ◇ be eager to - 「ぜひとも-したい」
- ◇ focus on ... 「…に焦点を当てる」

第6問

解答

問1 -	24	②,	25	③,	26	⑤,	27	④	(全部正解で3点)
問2 -	28	- ④	29	- ⑤	(両方正解で3点)				
問3 -	④	問4 -	②	(各3点)					

出典 Original Material

全訳

あなたは英文学クラブに所属していて、来週以下のショートストーリーを他のメンバーに紹介することになっています。あなたはそのプレゼンのためのメモを準備しています。

月光の約束

「絶対に私に嘘つかないって約束したじゃない」 ハルカは涙を流しながら言った。  
 「ハルカ、何でここにいるの？」 コウスケは驚きながら言った。  
 「ごめんな、コウスケ。でも、こうするのが正しいと思ったんだ」 シュウジが言った。

★★★★★

「これ君の？」 スマートフォンを握りながら、イケメンの男性がハルカに話しかけた。  
 「あっそうです！ それ私のです！ 1時間くらいそれを探していたんです。ありがとうございます！」

「どういたしまして。えっと、僕はコウスケ。この市の図書館に毎日来てて、実を言うと、君も来ているの知ってるんだよね。だからすぐに君のだとわかったんだよね」

「あ、そういうことだったんですね。ありがとうございます。私はハルカです。そして、実を言うと、私も1ヵ月くらい、お兄さんが毎日ここに来ているの知ってました」

そうして、こんな風に2人の関係は始まった。この最初の会話の後、2人はメールのやりとりをするようになって、偶然にも2人とも英文学を専攻していることを知った。それ以外にもたくさん共通点があることにも2人は気づいた。そうしてごく自然に、2人はどんどんお互いにひかれあっていった。

★★★★★

「図書館に行って2人で勉強する以外に何か一緒にやったの？」 ハルカの親友のエリナが尋ねた。

「いやそんなに。でも、彼の親友が働いているレストランで夕飯をどうかなって誘ってくれたの。で、明日行くことにしたの」

「あとでどうだったか聞くのを楽しみにしてるね！」

★★★★★

「このお店はとて居心地がいいわね。もちろん、どの料理もすごくおいしい」

「本当だね。シュウジがここで働いているのを誇りに思うよ。この仕事を手にするのは楽じゃなかったって言ってたよ。ああ、シュウジ。こっちに来てよ」

「よおコウスケ、来てくれてありがとね」

「ハルカ、これがシュウジ。シュウジ、この子がハルカだよ」

「初めまして、シュウジさん」

「こちらこそ。コウスケが言ってたままだね。彼はよくハルカちゃんのことを話しているよ」

ハルカは顔を赤らめた。

「ぜひレストランを楽しんでいってね。キッチンに戻らなきゃ。今日はかなり忙しいんだ」

2人はレストランを出た後、オクサワ公園に行った。

「ハルカ、ここ数週間、僕たちのことを考えていたんだ。それで、君を愛していることに気づいたんだ」

「コウスケ、私もあなたが好き。でも、どんなことがあっても私に嘘をつかないって約束してほしいの」

「もちろんだよ」

★★★★★

「ねえ、うまくいっているの？ たくさんデートしてる？」 エリナが尋ねた。

「うん、すごく頻繁にね。毎日オクサワ公園に行って月を眺めているの。私は子どもの時から夜空を見るのがずっと好きなんだよね」

「で、コウスケも？」

「うん。それに彼言ってた。彼が文学で主に興味があるのは、文学作品で月がどのように描かれているかなんだったって」

★★★★★

2人が付き合ってから2年くらいたったころ、コウスケはハルカを避けるようになった。どうしてなのかはハルカにはわからなかった。コウスケは夜ハルカに電話をするのもやめてしまった。それまでは毎晩電話していたのに。彼女の方から電話をかけても、彼はどうしても出なかった。一体何がどうなっているのか彼女にはわからず、すっかり傷心していた。なんのやり取りもなく2週間がたったころ、コウスケはハルカに電話して、彼らの交際は終わったと告げた。彼は他に好きな子ができたとか何とか言っていた。彼女は何と聞いていいかわからなかった。そんな風に2人の関係が終わるなんて信じられなかった。「わかった」しか言えなかった。全然彼女は納得できていなかったけれど。

★★★★★

「来てくれてありがとう」 病院のベッドで横になりながらコウスケが言った。

「大丈夫か？ 救急車でここに運ばれてきたって聞いたけど。何があった？」 シュウジが聞いた。

「色々あってね。実はさ、どうやらあと数ヶ月しか生きられないみたいなんだ」

「え？ それ本気で言ってるの？ 冗談だよな？」

実際は、冗談ではなかった。彼は深刻な症状をかかえていたのだ。それを知ってからというもの、彼はハルカのことばかり考えていた。彼女の気持ちを傷つけない。そして彼女のショックを最小限に抑えるのにはどうするのが一番いいだろうかとずっと考えていた。そして最終的に、病気のことを一切彼女に言わないのが一番いいという結論に至ったのだった。

「彼女には他の人を好きになったって言うつもり。だって、その方が彼女は僕を忘れて前に進みやすいと思うんだ」

「でも、彼女には真実を知る権利があると思うけど。そう思わないの？」

★★★★★

「シュウジ、病気のことをハルカに言っちゃだめじゃないか」 コウスケが言った。

「私に絶対嘘つかないって言ったじゃない！」 ハルカが遮るように言った。

「ごめん…ただハルカのことを守りたかったんだ」

長い沈黙が流れた。

「僕が間違っていた」 永遠にも思えるくらい長い時間がたってから、コウスケがようやくそう言った。彼女の涙を見て、彼女を遠ざけようとする自分の決断は、彼女に悲しみを与えないためではなく、サヨナラを言う辛さから自分を守るためだったということに気づいたのだった。愛とは、喜びも、悲しみも、たとえそれがどれだけ辛いものでも、分け隔てなく共有することにその本質があると彼は気づいた。

ハルカはコウスケの手を強くぎゅっと握りながら頷いた。

「コウスケ、私はいつだって一緒にいるわ。月明かりの下、一緒に2人で立ち向かうの。これまでもずっとそうだったじゃない」

それからというもの、コウスケとハルカは2人の時間を最大限に生きた。彼らの愛は真実を分かち合ったゆえの強さがあり、脆いからこそその強さを持っていた。そんな彼らの愛は、人生の最もつらい試練に立ち向かう時に、愛する人がそばにいてくれることがどれだけ心強いことかということを手話していた。

「とても悲しい。でもとても幸せよ」 ハルカは言った。「もしあなたがいなくなってから真実を知っていたなら、絶対、二度と私は笑顔になれなかったと思う」

「そうだよ。俺はシュウジに借りができたんだよ」

「私たちが、がね」

毎晩、最後の瞬間まで、2人を最初に結び付けてくれた月明かりの下、コウスケとハルカはたくさん会話をして、たくさん笑った。それもそのはず。最もつらい時であっても、光は見いだせるということを手は思い出させてくれるのだから。

あなたのメモ：

### 月光の約束

物語のあらすじ

コウスケとハルカが初めて会話する。

24

25

26

27

コウスケが残された時間をハルカと過ごす。

コウスケについて

- 大学生
- 月がどのように文学で表現されているかを調べるために文学を専攻している。

大きな転換点

コウスケは **28** しかかったのでハルカを避けることにしたが、実際には **29** ために自分はそうしていたことに後に気づいた。

物語の解釈

- シュウジは「自分が正しいと思ったことをした」と言っている。これはシュウジが **30** ことを意味している。
- 物語の最後で、筆者は「光を見つけ出すことが出来る」という言い回しを使っている。これはおそらく **31** という事実を意味している。

設問解説

問1 **24** 正解②, **25** 正解③, **26** 正解⑤, **27** 正解④

「5つの出来事(①～⑤)から4つ選び、起きた順に並び替えなさい」

- ① エリナがコウスケに会うために図書館に行く。
- ② ハルカとコウスケがシュウジが働いているレストランに行く。
- ③ コウスケがオクサワ公園でハルカに愛していると伝える。
- ④ コウスケがハルカに別れると言う。
- ⑤ シュウジがコウスケの病気のことを知る。

正解は②→③→⑤→④。

“This place is ... から始まる4つ目のブロックでは、コウスケとハルカが2人でシュウジが働くレストランに行った場面が描かれている(②)。同じブロック後半(After leaving the ...)でコウスケがハルカに恋をしていると伝える発言がある(③)。“Thanks for coming,”から始まる7つ目のブロックでは、シュウジにコウスケが自分の病気を伝える場面が描かれている(⑤)。Two years into ... から始まる6つ目のブロックでは、コウスケがハルカに彼らの交際は終わったと告げる場面が描かれている(④)。話の登場順で言うと④よりも後に⑤が出てくるが、⑤が述べられているブロックの後半で、I will tell her I fell in love with someone else(彼女には他の誰かと恋に落ちたと言おうと思う)という風に言っていることから、この場面はハルカに別れを切り出す前のことだと判断できる。よって、④よりも⑤の方が先であると判断する。以上より、②→③→⑤→④の順番が正解である。

なお、①に該当する記述は本文にはない。

問2 **28** 正解④, **29** 正解⑤

「**28** と **29** に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① 他の女の子とデートする
- ② 嘘をつかないという約束を守る
- ③ ハルカに確実に自分のことを永遠に覚えてもらう
- ④ 自分を失う辛さからハルカを守る
- ⑤ サヨナラを言う辛さから逃げる

正解は**28**は④, **29**は⑤。最後のブロック(“Shuji, you shouldn't ...)の中盤に Seeing her tears, he now realized his decision to push her away was more about protecting himself from the pain of goodbyes than about sparing her grief. 「彼女の涙を見て、彼女を遠ざけようとする自分の決断は、彼女に悲しみを与えないためではなくて、

サヨナラを言う辛さから自分を守るためだったということに気づいたのだった」とある。この文の前半の protecting himself from the pain of goodbyes 「サヨナラを言う辛さから自分を守る」が **29** に入るべき内容であり、後半の sparing her grief 「彼女に悲しみを与えない」が **28** に入るべき内容である。よって、**28** は④が正しく、**29** は⑤が正しい。

なお、7つ目のブロック(“Thanks for coming,” ...)に he was wondering what the best way to minimize her shock was 「彼女のショックを最小限に抑えるのにはどうするのが一番いいだろうかと考えていた」とあるので、ここからもコウスケがハルカを遠ざけようと思ったのはハルカに悲しませないためだったと判断できる。

問3 **30** 正解④

「**30** に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① ハルカにコウスケの本当の意図を隠した
- ② ハルカを自分の働くレストランに招待した
- ③ コウスケの気持ちに関してハルカに嘘をついた
- ④ コウスケが何に苦しんでいるかをハルカに伝えた

正解は④。この発言は物語冒頭にあるが、物語の時系列を考えると、ここは最後のブロックにつながる箇所である。最後のブロックでコウスケはシュウジに「ハルカに病気のことを言うべきではなかった」と言っている。直前のブロックでコウスケがハルカのショックを最低限に抑えるためにハルカに病気のことを隠そうと決めたとシュウジに話しているの、当然コウスケはシュウジがハルカに病気のことを伝えないはずだと思っていたことになる。一方、シュウジは同ブロックで「彼女には真実を知る権利があると思わないのか」と問いただしているの、シュウジはハルカがコウスケの病気の真実を知るべきだと考えているとわかる。結果として、シュウジはコウスケの意図に反してハルカに真実を伝えたということになる。よって「正しいと思うことをした」の「正しいと思うこと」とは「ハルカにコウスケの病気のことを伝えること」だと判断できるので、④が正しい。

問4 **31** 正解②

「**31** に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① ハルカは月の意味を理解したと感じた
- ② コウスケとハルカが2人でいる時間を楽しんだ
- ③ コウスケとハルカに良い友達がいた
- ④ コウスケが世界で一番の女性に会った

正解は②。light can be found は「光は見いだせる」と訳される。直前の even in the darkest times は「最もつらい時でさえ」という意味だが、ここで言う「最もつらい時」は、文脈上「コウスケが病気で先が長くないこと」を表していると考えられる。最終ブロックではコウスケが本当に大切なことは何かに気づき、真実を知ったハルカと2人で残りの時間を精一杯に生きたという内容が書かれている。前文にある Kosuke and Haruka talked and laughed a lot. 「コウスケとハルカはたくさん会話をして、たくさん笑った」もそれを示している。よって、ここで言う「光が見いだせる」というのは2人の残りの時間を2人で楽しむことだと判断できるので、②が正解である。

①は該当する記述がない。③は確かに直前の内容から「2人にはシュウジという良い友達がいた」ことは読み取れるが、ここではそれよりもコウスケとハルカの2人が残りの時間を楽しんだことに焦点が当てられている。④については、コウスケにとってハルカが大切な女性であることは文章から読み取れるものの、「世界で一番」という記述はなく、また、コウスケがハルカに会ったのは病気が判明する前のことであるから、「最もつらい時でさえ」に続く内容としては不適切である。

主な語句・表現

[第1ブロック]
("You promised you'd ...")

[第2ブロック]
("Is this yours?" ...)

[第3ブロック]
("Have you done ...")

[第4ブロック]
("This place is ...")

[第5ブロック]
("So, how have ...")

[第6ブロック]
(Two years into ...)

[第7ブロック]
("Thanks for coming," ...)

- ・問題冊子を参照のこと。
◇ lie to ... 「…に嘘をつく」
◇ surprised ㊦ 「驚いて；驚きながら」
◇ that's right 「その通り」
◇ by the way 「ところで」
◇ immediately ㊦ 「すぐに」
◇ make sense 「納得がいく；理にかなっている；妥当である」
◇ truth be told 「実を言うと」
◇ exchange emails 「メールのやり取りをする」
◇ happen to- 「たまたま-する」
◇ literature ㊦ 「文学」
◇ have a lot in common 「たくさん共通点がある」
◇ naturally ㊦ 「自然と」
◇ my pleasure 「どういたしまして」
◇ to tell the truth 「実を言うと」
◇ recognize ㊦ 「…だとわかる」
◇ that's how ... 「そうやって…」
◇ major in ... 「…を専攻する」
◇ more and more ... 「ますます…」
◇ decide on ... 「…に決める」
◇ be looking forward to -ing 「-することを楽しみにしている」
◇ hear from ... 「…から連絡がある」
◇ amazing ㊦ 「素晴らしい」
◇ True. 「本当だね」
◇ come over here 「こっちに来る」
◇ Nice to meet you. 「初めまして」
◇ The pleasure is mine. 「うれしいのは私の方です；こちらこそ」
◇ be exactly as ... 「まさに…の通りである」
◇ blush ㊦ 「赤面する」
◇ rather ㊦ 「かなり」
◇ for the past couple of weeks 「ここ数週間ほど」
◇ be in love with ... 「…に恋している；…を愛している」
◇ make ... a promise to- 「…に-すると約束する」
◇ no matter what 「どんなことがあっても」
◇ How have ... been getting along? 「…の調子はどう？；…はうまくやっている？」
◇ go on a date 「デートに行く」
◇ the way ... 「…する方法」
◇ literary works 「芸術作品」
◇ ... years into ~ 「～が始まってから…年経って」
◇ wouldn't - 「どうしても-しなかった」
◇ what is going on 「何がどうなっているのか；一体どうなっているのか」
◇ after ... weeks of ~ 「…週間にわたり～した後で」
◇ be done 「終わりである」 本文のように交際している2人が別れる時にもよく使われる。
◇ say something about ... -ing 「…が-するとか言う」
◇ be at a loss for words 「なんといいかわからない」
◇ just like that 「いきなり（そんな風に）；何の説明もなく」
◇ I get it. 「わかった」
◇ be brought here 「ここに連れてこられる」
◇ It's a long story. 「話せば長くなる；色々あってね」
◇ the thing is, 「実は」
◇ it turns out (that) ... 「…ということが判明する」

- ◇ have only ... to live 「あと…しか生きられない」
◇ are you serious? 「本気で言ってるの？」 ◇ you are just kidding 「冗談だよ」
◇ hurt one's feelings 「…の気持ちを傷つける」
◇ minimize ㊦ 「…を最低限に抑える」
◇ come to the conclusion that ... 「…という結論に達する」
◇ fall in love with ... 「…と恋に落ちる」
◇ move on 「(つらい経験から立ち直って) 前に進む」
◇ deserve to- 「-する権利がある；-するに値する」
◇ don't you think so? 「そう思わないの？」

[最終ブロック]
("Shuji, you shouldn't ...")

- ◇ shouldn't have p.p. 「…すべきではなかった」
◇ interrupt ㊦ 「割って入る」
◇ after what seemed like ages 「永遠にも思えるくらい長い時間が経ってから」
◇ push ... away 「…を遠ざける」
◇ be about ... 「…することが目的 [本質] である」
◇ spare ... grief 「…に悲しみを与えない；…を悲しませない」
◇ squeeze ㊦ 「…をぎゅっと握りしめる」 ◇ just like ... 「…とまったく同じように」
◇ one's time together 「一緒に過ごす時間」 ◇ vulnerability ㊦ 「脆さ」
◇ testament to ... 「…を証明するもの」 ◇ by one's side 「…のそばにいて」
◇ be gone 「亡くなる；無くなる」 be dead の婉曲表現。
◇ glow ㊦ 「輝き」
◇ after all 「だって；何と言っても…だから；やはり」

[メモ]

- ◇ for the first time 「初めて」 ◇ explore ㊦ 「…を探索する；調べる」
◇ represent ㊦ 「…を表現する」 ◇ refer to ... 「…を指し示す」

[設問文・選択肢]

- ◇ confess ㊦ 「…を告白する」 ◇ break up with ... 「…と別れる」
◇ suffering ㊦ 「苦悩；辛さ」

第7問

解答

- 問1 - ①      問2 - ③      問3 - ③      (各3点)  
 問4 - ②・⑤      (順不同・両方正解で4点)  
 問5 - ④      (3点)

出典

Original Material

全訳

あなたは、あるウェブサイトに掲載されている次の文章を使って、国際的な学術プレゼンテーション大会の準備をしています。

蚕と文明：古代の絹から現代の科学まで

蚕は科学的に *Bombyx mori* として知られる蛾の、幼いときの姿である。蚕の一生は小さな卵から始まる。卵が孵化すると、一般に蚕と呼ばれる幼虫が現れる。その後、その幼虫は絹糸が作られる保護膜である繭を紡ぐ。しばらくすると幼虫は繭の中で蛹になる。これは最終段階である蛾に変わる前の段階だ。

蚕には興味深い生物学的特徴がたくさんある。しっかり成長するには、蚕は暖かい生活場所と、桑の葉をたくさん食べることが必要だ。適切に世話をすれば、蚕は、より良い絹を生み出す。人間は長い間、絹を作るのが上手いが、自力で生きていくのはあまり上手くない蚕を選んできたので、蚕は野生で生きていく能力を失ってしまった。蚕が蛾になると羽は生えるが、ほとんど飛ぶことはできない。カイコガは口がないため、食べたり飲んだりすることができない。カイコガの唯一の目的は繁殖する(卵を産む)ことであり、蛾になってから1週間ほどで死んでしまう。これらの特徴は、養蚕以外で生きていくには不利だが、蚕を絹作りにとっても役立つものになっている。

絹と人間の関係には長い歴史がある。伝説によれば古代中国で、ある女性が絹を発見した時に絹の生産が始まった。彼女が桑の木の下でお茶を飲んでしていると、繭がカップの中に落ち、繭が開いて輝く絹糸があらわになっていった。その美しさと強度に感動し、彼女は蚕を飼い始め、養蚕が誕生した。この話は伝説にすぎないかもしれないが、中国の人々は5,000年以上も前から絹を作り続けてきた。彼らは蚕を大切に育て、より良い絹ができるように蚕を変化させてきた。これは、人間が自分たちの利益のために自然を利用した最も古い例の1つである。

その後、中東やヨーロッパでは、家具や絨毯や衣服に絹が使われ始めた。しかし中国は国際貿易で多くの利益を得るため、絹の生産技術を秘密にしていた。これがシルクロード発展の一因となり、さまざまな国の人々が商品、思想、文化を共有できるようになった。絹はこの取引の主要な一部であり、多くの文化において絹がどれほど重要であったかがわかる。

今日、蚕は科学の分野でもきわめて重要な役割を果たしている。蚕の単純なDNAは、複雑な生物学の謎を解明するのを助ける研究に最適である。科学者たちは蚕をバイオテクノロジーの分野で利用し、医療用や工業用の新種の絹を作ろうとしている。1つの例はクモの糸と同じくらい丈夫な絹を作ることができる蚕を作ることである。蚕の有用性は医療にも及んでいる。人体に吸収されやすい種類の絹が開発された。その絹は薬を体内の必要な場所へ、より効果的に届けるのに役立つだろう。

絹には多くの利点があるが、その生産には課題がある。蚕は主に桑の葉を食べるが、大規模な桑の農場は地域の生態系に影響を与え、他の動植物に害を与える可能性がある。それに加えて、桑の木を育てるために水と土地を集中的に使用することが懸念されており、

より環境に優しい絹の生産方法が必要とされている。研究者たちは、より少ない土地と水で、より効率的に桑の木を育てる方法を模索している。彼らは天然の絹に似ているが、蚕や桑の木に頼らない人工絹の開発にも取り組んでおり、これによって絹生産が環境に与える影響は少なくなる。

私たちは絹を大いに活用する一方で、それが蚕にどのような影響を与えるかを考える責任がある。伝統的な絹の製造工程は、繭を煮る必要があり、蚕を殺してしまうため、倫理的に疑問の余地がある。すべての生物はそれ自身の命を持つ権利を有するべきだという観点から、蚕により優しいやり方で絹を生産する方法に注目が集まっている。例えば、蛾を繭から出してから、繭を絹にするために使用している生産者もいる。

これらの問題はありますが、蚕は私たちの世界に価値を加えるという点で重要であり続けるだろう。それゆえに、私たちは地球にも良く、蚕にも公正な方法で生産された絹を選ぶようにすべきである。蚕を使用せずに、または蚕を傷つけずに作られたという表示のある絹製品を買うことは、その助けになることもある。私たちの小さな選択の一つ一つが、環境と蚕にとって大きな良い変化につながるかもしれない。

発表のスライド：

<p>蚕と文明： 古代の絹から現代の科学まで</p> <p>1</p>	<p>特徴</p> <p>蚕は…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 絹を作り出す。</li> <li>• <b>32</b></li> <li>• 野生では生きられない。</li> <li>• 何世紀もの間、人間によって育てられてきた。</li> </ul> <p>2</p>
<p>歴史</p> <p>絹は… <b>33</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 中国で生まれた。</li> <li>B. 5,000年以上前にさかのぼる。</li> <li>C. 長い間中国で隠されていた。</li> <li>D. 貿易に使われた。</li> <li>E. 多くの文化に影響を与えた。</li> </ul> <p>3</p>	<p>科学</p> <p><b>34</b></p> <p>4</p>
<p>課題</p> <p>より環境に優しくあるために、研究者たちは…よう懸命に努力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>35</b></li> <li>• <b>36</b></li> </ul> <p>5</p>	<p>結びの言葉</p> <p><b>37</b></p> <p>6</p>

## 問1 32 正解①

「スライド2の、蚕の2つ目の特徴は何か」 32

- ① 蛾の状態の時、うまく飛べない。
- ② 蛹の状態の時、卵を産む。
- ③ 蛾の状態の時、繭を作る。
- ④ 寒い気候を好む。

正解は①。32のスライドを含んでいる、蚕の「特徴」については本文の第1段落及び第2段落で述べられている。①は、第2段落第5文(They have wings ...)の「蚕が蛾になると羽は生えるが、ほとんど飛ぶことはできない」という部分に一致する。

②に関しては、第2段落第7文(Their only purpose ...)に「カイコガの唯一の目的は繁殖する(卵を産む)ことであり、蛾になってから1週間ほどで死んでしまう」とあり、卵を産むのはpupa(蛹)の時ではなくmoth(蛾)になってからのことであるため、本文の内容に一致しない。③は、第1段落第4文(It then spins ...)に「その後、その幼虫は絹糸が作られる保護膜である繭を紡ぐ」とあり、繭を作るのはmoth(蛾)になる前のlarva(幼虫)の時であるため、これも本文の内容に一致していない。④は第2段落第2文(They need a ...)に「しっかり成長するには、蚕は暖かい生活場所と、桑の葉をたくさん食べることが必要だ」とあり、蚕は暖かい場所を好むと考えられるので、本文の内容に一致しているとは言えない。

## 問2 33 正解③

「スライド3であなたが見つけた誤りはどれか」 33

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は③。33を含んでいる、蚕の「歴史」については、本文の第3段落と第4段落で述べられている。「歴史」のスライドのCは、第4段落第2文(However, China kept ...)に「しかし中国は国際貿易で多くの利益を得るため、絹の生産技術を秘密にしていた」とあるが、絹自体が長い間隠されていたとは書かれていないため、本文の内容と一致しているとは言えない。したがって、③が正解となる。

「歴史」のスライドのAの内容は、第3段落第2文(According to a ...)に、絹の生産は中国で始まったことが述べられており、本文の内容に一致している。Bは第3段落第5文(Although this story ...)の「中国の人々は5,000年以上も前から絹を作り続けてきた」という部分に一致する。D・Eに関しては、第4段落最終文(Silk was a ...)に「絹はこの交易の主要な一部であり、多くの文化において絹がどれほど重要であったかがわかる」と述べられており、絹が貿易で重要なもので多くの文化に影響を与えていたことがわかるので、どちらも本文内容に一致している。

## 問3 34 正解③

「スライド4の科学研究における蚕の利用について、何が推測できるか」 34

- ① 研究者は蚕の自然環境での生存率を向上させるために努力している。
- ② 科学者は蚕よりも高度なDNAを持つ複雑な生物を生物学的研究に使うのを好む。
- ③ 蚕研究は、薬物治療を成功させるのに大いに役立つような種類の絹を作り出した。
- ④ 蚕研究の最も重要な目的は、経済的利益のために絹の生産を増やすことである。

正解は③。34を含んでいる、蚕の「科学」については、本文の第5段落で述べられている。③に関しては、第5段落第6文(A type of ...)で「人体に吸収されやすい種類の

絹が開発された」、同段落最終文(It will help ...)で「その絹は薬を体内の必要な場所へ、より効果的に届けるのに役立つだろう」と述べられていることから、蚕の研究により、薬物治療が成功する可能性が高まると推測することができる。したがって、これが正解となる。

①の「蚕の自然環境での生存率を向上させる」という内容は本文中に書かれていないため、誤り。②は、第5段落第2文(Their simple DNA ...)で、蚕のDNAが単純であることは述べられているものの、科学者が蚕よりも高度なDNAを持つ複雑な生物を研究に用いることを好んでいるという内容は述べられていないので、誤り。④に関しては、「蚕研究の最も重要な目的」については本文中で言及がないため、誤りとなる。

## 問4 35・36 正解②・⑤

「スライド5の選択肢を2つ選びなさい(順番は問わない)」 35・36

- ① 人工的な桑の木を作る。
- ② 蚕を使わずに絹を作る。
- ③ 蚕をより早く成長させる。
- ④ 桑の木をより広い土地で育てる。
- ⑤ より少ない水で桑の木を育てる。

35・36を含むスライドの見出しになっている「課題」に関しては、第6段落で述べられている。②に関しては、第6段落最終文(They are also ...)に「彼らは天然の絹に似ているが、蚕や桑の木に頼らない人工絹の開発にも取り組んでおり、これによって絹生産が環境に与える影響は少なくなる」と述べられているので、本文の内容に一致していることがわかる。⑤については、第6段落第4文(Researchers are exploring ...)で「研究者たちは、より少ない土地と水で、より効率的に桑の木を育てる方法を模索している」とあるので、こちらも本文の内容に一致している。

①の「人工的な桑の木」、③の「蚕をより早く成長させる」という内容は本文中に書かれていないため、どちらも誤り。④に関しては、第6段落第4文(Researchers are exploring ...)の、研究者たちが、より少ない土地で桑の木を育てる方法を模索しているという内容に矛盾しているため、誤り。

## 問5 37 正解④

「スライド6に最も適切な記述を選びなさい」 37

- ① 絹の服を着れば、あなたは裕福であるという印象を他の人に与える。
- ② 科学における絹の重要性は、環境への影響を正当化する。
- ③ 絹産業は倫理的な理由から絹の生産を劇的に削減すべきである。
- ④ 絹の恩恵を受け続けるために、持続可能で倫理的な生産が必要である。
- ⑤ 伝統的な絹の生産方法は現代の生産方法よりも環境に優しい。

正解は④。最終段落第1文(Despite these problems, ...)で「これらの問題はあるが、蚕は私たちの世界に価値を加えるという点で重要であり続けるだろう」、続く同段落第2文(Therefore, we should ...)で「それゆえに、私たちは地球にも良く、蚕にも公正な方法で生産された絹を選ぶようにすべきである」と述べられており、④はこの内容と一致していると考えられる。

他の選択肢の内容は、いずれも本文に書かれていないため誤りとなる。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

[リード文・タイトル]

- ◇ prepare for ... 「…の準備をする」
- ◇ silkworm 図「蚕」

- ◇ academic 図「学術的な」
- ◇ modern 図「現代の」

[第1段落]  
(The silkworm is ...)

- ◇ form 図「姿；形態」
- ◇ scientifically 図「科学的に」
- ◇ tiny 図「小さな」
- ◇ larva 図「幼虫」
- ◇ emerge 図「現れる；出現する」
- ◇ cocoon 図「繭」
- ◇ layer 図「層」
- ◇ pupa 図「蛹」

- ◇ moth 図「蛾」
- ◇ begin with ... 「…から始まる」
- ◇ hatch 図「孵化する」
- ◇ commonly 図「一般的に」
- ◇ spin 図「…を紡ぐ」
- ◇ protective 図「保護する」
- ◇ thread 図「糸」
- ◇ turn into ... 「…に変わる」

[第2段落]  
(Silkworms have many ...)

- ◇ biological 図「生物学的な」
- ◇ mulberry 図「桑」
- ◇ properly 図「適切に」
- ◇ be good at ... 「…が得意である」
- ◇ survive 図「生きていく」
- ◇ lack 図「…が欠けている；…を持っていない」
- ◇ purpose 図「目的」
- ◇ lay 図「〈卵〉を生む」
- ◇ useful 図「役に立つ；有益な」

- ◇ characteristic 図「特徴」
- ◇ care for ... 「…の世話をする」
- ◇ select 図「…を選ぶ」
- ◇ on one's own 「1人で；独力で」
- ◇ hardly 図「ほとんど～ない」
- ◇ reproduce 図「繁殖する；子どもを生む」
- ◇ outside of ... 「…の外で」

[第3段落]  
(The relationship between ...)

- ◇ legend 図「伝説」
- ◇ unfold 図「広がる；開く」
- ◇ expose 図「〈隠れているもの〉をあらわにする；露出する」
- ◇ strength 図「強度；強さ」
- ◇ nature 図「自然」

- ◇ ancient 図「大昔の」
- ◇ mark 図「〈始まり；変化〉を示す」
- ◇ for one's benefit 「…の利益のために」

[第4段落]  
(The Middle East ...)

- ◇ furniture 図「家具」
- ◇ technique 図「技術」
- ◇ benefit 図「恩恵を得る」
- ◇ contribute to ... 「…の一因となる」
- ◇ allowed O to - 「O が-するのを可能にする」
- ◇ share 図「…を共有する」
- ◇ exchange 図「交流；交易」

- ◇ clothing 図「衣服」
- ◇ in order to - 「-するために」
- ◇ trade 図「貿易」
- ◇ development 図「発展；発達」
- ◇ key 図「主要な；重要な」

[第5段落]  
(Today, silkworms are ...)

- ◇ play a role 「役割を果たす」
- ◇ field 図「分野」
- ◇ help (to) - 「-するのに役立つ」
- ◇ biotechnology 図「バイオテクノロジー」
- ◇ industrial 図「工業用の」
- ◇ usefulness 図「有用性；便利であること」
- ◇ medicine 図「医療；薬」
- ◇ deliver 図「…を届ける」

- ◇ essential 図「重要な」
- ◇ perfect 図「最適な」
- ◇ mystery 図「神秘」
- ◇ medical 図「医療用の」
- ◇ spider 図「クモ」
- ◇ extend to ... 「…に及ぶ」
- ◇ absorb 図「…を吸収する」
- ◇ effectively 図「効果的に」

[第6段落]  
(Despite the many ...)

- ◇ despite 図「…にもかかわらず」
- ◇ face 図「…に直面している」
- ◇ mainly 図「主に」
- ◇ extensive 図「大規模な」
- ◇ affect 図「…に影響を与える」
- ◇ ecosystem 図「生態系」
- ◇ in addition 「それに加えて」
- ◇ land 図「土地」
- ◇ method 図「方法；手段」
- ◇ efficiently 図「効率よく」
- ◇ artificial 図「人工的な」
- ◇ natural 図「天然の；自然な」
- ◇ thus 図「このようにして；そうすることで」
- ◇ impact 図「影響」

- ◇ benefit 図「恩恵」
- ◇ challenge 図「課題；難題」
- ◇ consume 図「…を食べる [摂取する]」
- ◇ farming 図「農場」
- ◇ local 図「地域の」
- ◇ harm 図「…に害を与える」
- ◇ intensive 図「集中的な」
- ◇ concern 図「心配な事；懸念事項」
- ◇ explore 図「…を模索する」
- ◇ space 図「空間；面積」
- ◇ resemble 図「…に似ている」
- ◇ rely on ... 「…に依存して [頼って] いる」

[第7段落]  
(While we take ...)

- ◇ take advantage of ... 「…を活用する」
- ◇ traditional 図「伝統的な」
- ◇ ethically 図「倫理的に」
- ◇ questionable 図「疑わしい；疑問の余地がある」
- ◇ require 図「…を必要とする」
- ◇ perspective 図「観点」
- ◇ right 図「権利」
- ◇ focus A on B 「BにA〈注目；意識など〉を集中させる」

- ◇ responsibility 図「責任」
- ◇ process 図「工程；過程」
- ◇ boil 図「…を煮る」
- ◇ living organism 「生物」
- ◇ attention 図「注目」

[最終段落]  
(Despite these problems, ...)

- ◇ add A to B 「AをBに加える」
- ◇ fair 図「公正な」
- ◇ say (that) ... 「〈表示などで〉…と書いてある」
- ◇ choice 図「選択」
- ◇ positive 図「良い」
- ◇ value 図「価値」
- ◇ lead to ... 「…につながる」

[スライド]

- ◇ originate 図「生じる；始まる」
- ◇ have an influence on ... 「…に影響を与える」
- ◇ closing remark 「結びの言葉」

[設問文・選択肢]

- ◇ prefer 図「…の方が好きだ」
- ◇ sophisticated 図「高度な」
- ◇ primary 図「最も重要な」
- ◇ impression 図「印象」
- ◇ justify 図「…を正当化する」
- ◇ ethical 図「倫理的な」
- ◇ survival 図「生存」
- ◇ rather than ... 「…よりもむしろ」
- ◇ economic 図「経済の」
- ◇ wealthy 図「裕福な」
- ◇ sustainable 図「持続可能な」

第8問

解答

問1 - ①	問2 - ④	(各3点)
問3 - 40	41 - ③・⑤ (順不同)	42 - ③ (全部正解で4点)
問4 - ②		(3点)
問5 - ②		(4点)

出典

(参考) How the Coronavirus Outbreak Has — and Hasn't — Changed the Way Americans Work DECEMBER 9, 2020, PEW RESEARCH CENTER  
<https://www.pewresearch.org/social-trends/2020/12/09/how-the-coronavirus-outbreak-has-and-hasnt-changed-the-way-americans-work/>

全訳

あなたは、企業は従業員にテレワークを推奨すべきか、従来のオフィス勤務を推奨すべきかについてのエッセイを作成中です。以下のステップに従います。

- ステップ1: テレワークについてのさまざまな見解を読んで理解する。
- ステップ2: テレワークに対する企業の姿勢についての立場を決める。
- ステップ3: 追加の資料を用いてエッセイのアウトラインを作成する。

[ステップ1] さまざまな資料を読む

著者A (20代男性)

以前は、ほとんどのことを携帯電話を使って行っていたので、コンピュータ関連の作業については基本的なことしか知りませんでした。しかし、パンデミック(コロナ禍)でリモートワークになったため、テレワークに関わるテクノロジーの使用法を学ばなければなりません。これによって、デジタルコミュニケーションツールの使い方が上達しました。テレワークを始めた当初は苦労しましたが、これらの重要なスキルは私にとって職業能力の開発に長期的な利益をもたらすと思います。今では自分のスキルに自信が持てるようになりましたが、常にテレワークするのは少し退屈です。

著者B (20代女性)

自宅で仕事をすると、仕事と自分の私生活の区別が難しいと言わざるを得ません。自宅が職場でもあるので、いつでも仕事ができます。私は仕事の「スイッチを切る」ことが難しく感じています。このせいで、仕事をする時間が増えたり、いつも仕事をするようになってしまいます。常に仕事のことを考え、精神的に疲弊しています。職業上の生活と私生活を明確に区別することは、心身の総合的な健康に重要です。私は精神的に病んでいるように感じています。私はオフィスで仕事をする方が好きです。

著者C (30代女性)

毎日通勤する必要がないことで、時間が節約でき、ストレスも減少します。このおかげで、仕事と私生活がより良いバランスになっています。週5日オフィスで働かなければならなかったときよりも、より多くの時間を子どもたちと過ごすことができます。自宅で仕事することは、柔軟性が非常に高いという利点もあります。自分の好きなように仕事を設定できるということです。これをする人は一般的に快適に感じて、より集中できるため、生産性が向上します。これは、企業の経営者と従業員の関係性の改善に繋がります。

設問解説

著者D (30代男性)

同僚との日常的な交流がないと、職場の社交的な側面を失う可能性があると思います。対面でのコミュニケーション不足は、チームワークが必要な場面でマイナスに作用する可能性があります。日常生活におけるコミュニケーションの少なさは、心身両方の健康に影響を与える可能性があります。コロナ禍前に当然のものだと思っていたオフィスの活気ある雰囲気懐かしいです。在宅ワークでは孤立感を感じる事が多く、他の人たちや、世界からさえ切り離されているような気がします。うつ状態になることもあります。

著者E (40代男性)

在宅ワークは環境に良いです。それは、二酸化炭素排出量の減少と、一点の地域に集中している依存の軽減に繋がります。通勤する人の数が減れば交通量も減り、全体的な炭素排出量が低下します。テレワークは、都心部の混雑を軽減し、経済活動を異なる地域に広げるのにも役立ちます。もし引き続き在宅ワークができるなら、長距離通勤をしないことはストレスを減少させるだけでなく、静かな田舎での生活を選択できるということにもなります。

「テレワークについてどう思うか」について、各著者の基本的な立場と、主な主張をまとめると、以下のようになる。

著者	基本的な立場	主な主張
A	どちらとも言えない	・デジタルコミュニケーションに必要なスキルが獲得できる。 ・テレワークだけでは退屈。
B	反対	・仕事とプライベートの線引きが難しい。 ・精神的に病んでしまう。
C	賛成	・通勤時間がないのでストレス減少、家族との時間が増加。 ・好きなように仕事場を設定できる。
D	反対	・同僚との交流が少なく、チームワークに支障をきたす。 ・孤立感からうつ状態に。
E	賛成	・通勤混雑の減少は環境に良い。 ・都心部に居住する必要がなくなる。

問1 38 正解①

「著者BとDはいずれも38と述べている」

- ① テレワークは人々の精神的健康に悪影響を与えるかもしれない
- ② テレワークによって人々の時間管理能力が試されるかもしれない
- ③ テレワークは人々が現代のデジタルテクノロジーのスキルを向上させるのに役立つかもしれない
- ④ テレワークはワークライフバランス問題を軽減させることにつながるかもしれない

正解は①。著者Bは、第7文(I am experiencing ...)で、「私は精神的に病んでいるように感じています」と述べており、著者Dは、最終文(I sometimes experience ...)で「うつ状態になることもあります」と述べていることから、①が正解となる。

②はBのみが言及している在宅ワークの問題点であり、Dはそのことには言及していない。③は著者Aが言及している内容、④は著者Cが言及している内容であるため、いずれも不適切となる。

問2 39 正解④

「筆者Eは39ということを示唆している」

- ① テレワークによって田舎での生活が可能になることで、心身の問題が軽減される
- ② 在宅ワークをする親は通勤の必要がないため、子どもたちと過ごす時間を増やすことができる
- ③ 在宅ワークは人々の創造性を引き出し、個人の富を増やす結果となる
- ④ 在宅ワークの実践は、都市部への通勤者を減らすため、環境に効果的である

正解は④。著者Eの第1, 2文(Working from home ... It results in ...)の「在宅ワークは環境に良いです。それは、二酸化炭素排出量の減少と、一点の地域に集中している依存の軽減に繋がります」という内容から考えて④は正しい。

①は、著者Eの最終文(If I can ...)で通勤する必要がないことは「ストレスを減少させる(reduce my stress)」という記述はあるが、「身体的な問題(physical problems)」については言及されていないので不適切である。②は著者Cの意見で言及されている内容。③のようなことも著者Eは示唆していない。

[ステップ2] 立場を決める

問3 40 41 正解③・⑤ 42 正解③

「あなたはさまざまな見解を理解したので、企業は従業員にテレワークを推奨すべきか、従来のオフィス勤務を推奨すべきかどうかに関する立場を決めて、それを以下のように書き出した。40 - 42 を完成させるのに最も適切な選択肢を選びなさい(40 - 42 すべて正解で得点)」

あなたの立場：企業は従業員にテレワークを推奨すべきである。

- ・ 著者40と41があなたの立場を支持する。
- ・ この2人の著者が共有する論点：42。

40と41の選択肢(順序は問わない)

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は③と⑤。40と41には、「あなた」の立場と合う主張をしている著者を選ぶ。「あなた」の立場は「企業は従業員にテレワークを推奨すべきである」ということである。したがって解説冒頭の表に示したように、基本的な立場が「賛成」である③Cと⑤Eが正解となる。

42の選択肢

- ① 在宅ワークによって、人々はより頻繁に近所の人とコミュニケーションを取るようになる
- ② 在宅ワークによって、人々の生産性は向上し、企業の利益が増加する
- ③ 在宅ワークは、職場に通勤する場合に経験するストレスを軽減するのに役立つ
- ④ 在宅ワークにより、人々は通勤にかかるお金と時間を節約でき、新しい趣味を始められるようになる

正解は③。42には、著者CとEに共通する論点として適切なものを選ぶ。著者Cは第1文(Not having to ...)で、「毎日通勤する必要がないことで、時間が節約でき、ス

トレスも減少します」と述べており、著者Eも最終文(If I can ...)で「長距離通勤をしないことはストレスを減少させるだけでなく、静かな田舎での生活を選択できるということにもなります」と述べていることから、「通勤時のストレスの軽減」について述べている③が正解となる。

①については、Cは家族内のコミュニケーションについて言及しているが、「近所の人とのコミュニケーション」には言及していない。②についても、Cが最終文で、生産性の向上は「企業の経営者と従業員の関係性の改善に繋がる」と言及しているが、「企業の利益が増加する」とは述べていない。④については、著者C、Eともに通勤の必要のないことに利点を感じているが、「新しい趣味」についての言及はないため、これも誤りとなる。

全訳

[ステップ3] 資料AとBを利用して概要を作成する

あなたのエッセイの概要：

企業は従業員にテレワークを推奨すべきである

序論

パンデミックの後、現在は多くの人々がオフィスに戻ってきているが、企業はできるだけ従業員が自宅で働くことを許可すべきである。

本論

理由1：[ステップ2から]

理由2：[資料Aに基づく] ..... 43

理由3：[資料Bに基づく] ..... 44

結論

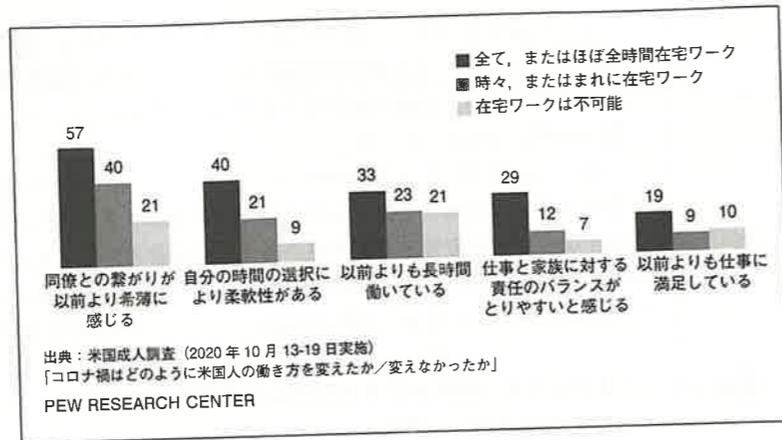
テレワークは、仕事と生活の負のバランスを解決する手段を提供し、個人の幸福感を向上させ、環境にもプラスに貢献する。

資料A

さまざまな研究や報告書によると、コロナ禍中には環境における肯定的な変化が見られた。多くの地域で、ロックダウンや移動制限中に、交通や産業などの人間が関わる活動が大幅に減少した。これにより、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量や大気汚染が一時的に減少した。NASAの衛星データによると、ロックダウン期間中、世界の主要都市で大気汚染が減少したことが示された。ある学術誌に掲載された研究によると、2020年4月のロックダウンが最も多かった時には、世界の炭素排出量が以前の期間と比べて17%減少したと推定された。人間が関わる活動が減少することで、一部の生態系が回復する機会も生まれた。人間が大きく占拠していた地域に野生動物が戻ってきたという報告もあった。交通や産業活動への規制は、都市部に住む人々に、騒音公害が減少するなどの利点をもたらした。

資料B

COVID-19の流行前と同じ職場で働いている米国の成人を対象に、2020年10月に調査が行われた。以下は、流行前と比較して感じることについての記述に同意した従業員の割合である。



設問解説

問4 43 正解②

「資料Aに基づくと、理由2に最もふさわしいものは次のどれか」 43

- ① ある学術誌によると、2020年のロックダウンが厳しかった期間中、前年よりも人間活動が17%減少したと報告された。
- ② 人間に関わる活動の減少により、二酸化炭素排出量と汚染が減少し、一部の野生動物には利益さえあった。
- ③ NASAが開発した衛星を利用する技術が、テレワークに必要な通信に使用された。
- ④ 人間に関わる活動が減少したため、都市の住民には何の利益もなかったが、動物や環境にはあった。

正解は②。資料Aでは、コロナ禍中に見られた環境における肯定的な変化について述べられている。資料Aの第3文(This led to ...)に「二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量や大気汚染が一時的に減少した」、第6文(Reduced human activities ...)に、「一部の生態系が回復する機会も生まれ」、第7文(There were reports ...)に「人間が大きく占拠していた地域に野生動物が戻ってきた」という記述があるため、②が正解となる。

①の「前年よりも人間活動が17%減少した」は、本文第5文(A study published ...)には「世界の炭素排出量が以前の期間と比べて17%減少した」とあるため誤り。③は、第4文(NASA's satellite data ...)にNASAの衛星データの記述があるが、それが通信に使用されたという内容ではないので誤り。④には「都市の住民には何の利益もなかった」とあるが、最終文(Restrictions on transportation ...)には「都市部に住む人々に、騒音公害が減少するなどの利点をもたらした」とあるため、これも誤りになる。

問5 44 正解②

「あなたは理由3として、『在宅ワークができる人々は、そうでない人々と比較して、私生活により多くのプラスの影響を経験している』と書くことにした。資料Bに基づくと、この主張を最も適切に支持する選択肢はどれか」 44

- ① テレワークが不可能な人の約3分の1は、以前よりも長時間働いているが、全て、またはほぼ全時間在宅ワークをしている人は約5分の1だけがそうしており、この割合は最も少ない。
- ② 全て、またはほぼ全時間在宅ワークをしている人において、時間の選択により柔軟性がある割合は、テレワークが不可能な人と比較すると4倍以上である。
- ③ 全て、またはほぼ全時間在宅ワークをしている人のうち、50%未満が同僚との繋がりが以前より希薄だと感じており、そのことが、彼らが仕事に満足している割合がテレワークが不可能な人と比べて2倍であることを説明している。

④ 在宅ワークができる人の多くは、それが、まれにまたは時々でも、全てまたはほぼ全時間でも、仕事と家族の責任のバランスがよりとりやすいと感じており、全部合わせると彼らの50%より多くがこの傾向を報告している。

正解は②。資料Bの内容と合っている選択肢を選ぶ。資料Bの「自分の時間の選択により柔軟性がある」という項目の棒グラフにおける40%と9%の比較から「在宅ワークをしている人において、時間の選択により柔軟性がある割合は4倍以上」という記述は正しい。これは、理由3で挙げた「在宅ワークができる人々は、私生活により多くのプラスの影響を経験している」という内容をサポートするため、②が正解となる。

①はグラフの「以前よりも長時間働いている」という項目を見ると、「在宅ワークは不可能な人」と「全て、またはほぼ全時間在宅ワークしている人」の割合が逆の記述になっているため誤り。③はwhich以降の内容について、「以前よりも仕事に満足している」という項目を見ると、19%と10%という数値から「全て、またはほぼ全時間テレワークをしている人は仕事に満足している割合がテレワークが不可能な人と比べて2倍である」という記述はおおむね合っているが、「同僚との繋がりが以前より希薄に感じる」という項目から、「50%未満」という箇所は誤り(グラフでは57%)である。④は「仕事と家族に対する責任のバランスがとりやすいと感じる」という項目を見ると、29%と12%を足して41%になるので「50%より多い」が誤り。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ take a position 「ある立場をとる」
- ◇ additional 罫 「追加の」
- ◇ source 罫 「情報源；資料」

[ステップ1]

- ◇ pandemic 罫 「(感染症の)世界的流行」
- ◇ provide A with B 「AにBを供給する」
- ◇ result in -ing 「-することになる」
- ◇ flexibility 罫 「柔軟性」
- ◇ miss out on ... 「…の機会を失う」
- ◇ potentially 罫 「もしかすると；潜在的に」
- ◇ take O for granted 「Oを当たり前だと思う」
- ◇ (feel) cut off from ... 「…から切り離された(と感じる)」
- ◇ depression 罫 「憂うつ」
- ◇ carbon footprint 「(二酸化)炭素排出量」
- ◇ option 罫 「選択肢」
- ◇ carbon emission 「(二酸化)炭素放出」
- ◇ congestion 罫 「渋滞」

[設問文・選択肢]

- ◇ time-management 罫 「時間を管理する」
- ◇ lead to ... 「…に至る」
- ◇ work-life balance 「ワークライフバランス」

[ステップ2]

- ◇ now that ... 「(今や)…なので」
- ◇ argument 罫 「論拠；論点；主張」
- ◇ as below 「以下のように」

[ステップ3]

- ◇ body 罫 「本文；本論」
- ◇ conclusion 罫 「結論」
- ◇ contribute to ... 「…に貢献する」
- ◇ human-related 罫 「人間に関わる」
- ◇ restriction 罫 「制限」
- ◇ carbon dioxide 「二酸化炭素」
- ◇ based on ... 「…に基づく」
- ◇ enhance 罫 「…を高める」
- ◇ indicate 罫 「…を示唆する」
- ◇ lockdown 罫 「ロックダウン；封鎖」
- ◇ temporary 罫 「一時的な」
- ◇ wildlife 罫 「野生動物」

- 
- ◇ COVID-19 図「コロナウイルス感染症」
  - ◇ survey 圖「…を調査する」
  - ◇ compared with ... 「…と比べて」 過去分詞で始まる分詞構文になっている。

[設問文・選択肢]

- ◇ telecommunication 図「テレコミュニケーション；遠距離通信」
- ◇ one third of ... 「…の3分の1」
- ◇ whether A or B 「AでもBでも」
- ◇ tendency 図「傾向」